

天王寺区区政会議委員 意見懇話会について

8月2日（木）午後3時00分から、天王寺区役所 3階講堂におきまして、天王寺区区政会議委員 意見懇話会を開催しました。

次 第

- 1 開会
- 2 区長あいさつ～就任挨拶～
- 3 委員紹介
- 4 議題
 - ・ 現行の区政会議について
 - ・ 多様な区民の意見やニーズを区政に反映する仕組み（案）～区政会議の再構築（スクラップ・アンド・ビルド）～
- 5 閉会

議 事 概 要

平成24年8月2日（木）午後3時00分～
天王寺区役所 3階 講堂

- 1 区役所からの資料説明等
 - ・ 現行の区政会議について

2 意見交換

○現行の区政会議について、委員より次のような意見があった。

（良いところ）

- ・ 区政会議において提案した内容（災害時に情報発信ができるようツイッターなどの導入）が、即座に取り入れてもらい、区民と区役所とが近くなった気がした。

（改善すべきところ）

- ・ サイレント・マジョリティなど、意見が出ない人達の意見を吸い上げることは大変難しいが机の上で考えていても進まないの、どんどん外へ出てほしい。
- ・ 会議の議題について、区の行事、例えば区民まつりなど、区から議題を提供してもらって、テーマ立てて議論するというようにすれば良いのではないか
- ・ あらゆる区民の結束、これが区政会議の本来の仕事ではないか。それぞれの委員が意見を言うだけではなく、1つ1つ詰めていく事が大事。
- ・ 若い世代の人達の会議に参加してもらうためには、会議の休日開催や時間帯を工夫するなどする必要がある。
- ・ 区政会議に出席する委員は、一人ひとり自分は何をすべきか、という目的を持って立ていただくことが大事
- ・ 医師会・歯科医師会・薬剤師会が毎年交代で参加されているが、医療・福祉を考えるには、どれかが欠けてもいけない。
- ・ 天王寺区にも大学があるので、区内に住んでいなくても天王寺区に学びに来る学生にも、声

をかけて参加してもらいたい。

- ・委員数20名は少ないと思う。年齢に関わらず、区政に関心のある方にも参加してもらい、委員数を増やすべき
- ・分野ごとでの議論をすることも必要と思うので、専門部会も必要ではないか

○区役所からは次のような回答を行いました。

- ・部会をつくるにあたっては、どのような部会か、誰にどの部会に属してもらうか、ということは、行政が決めるのではなく、委員の皆さんの自由闊達な議論によって決めていただくべき。
- ・若い世代の人達の会議に参加してもらうため、会議の休日開催や時間帯を工夫するなど、そのとおりだと思います。

(その他の意見)

- ・都市計画道路の整備を早期に進めるべき。交通事故の危険を少なくするためにも免税されている都市計画税を徴収するなど財源を確保し対応してほしい。
- ・障がいをお持ちの方が住みやすいまちづくりは、誰にとっても住みやすいまちづくりなので、その考えを入れて行動してほしい。
- ・地域への助成の25%ないし30%カットという話が聞こえてくる。例年のように進めてほしい。
- ・災害時には区役所にイニシアチブを取ってもらい、区民の安全を守ってほしい。
- ・新しく区民になった方などに対して、天王寺のまちのことを良く知っていただくために、区役所が情報発信してほしい。
- ・天王寺区には、有名な寺社・仏閣などがたくさんあるので、子ども達が誇れるようなまちづくりをしてほしい。
- ・マンションに居住する区民の比率の増加に伴い、地域が希薄化してきていることから、対策が重要であると考え。町会加入率を高めることで、新しく入ってきた住民の方や若い世代の方の意見も吸い上げる事が可能と考える。
- ・あまり活動されていない町会が多くある。また、活動内容についても、もっと若い人に参加してもらえるよう考え、新しい住民、また町会未加入の方へのアプローチをしてほしい。
- ・町会加入率を引き上げるためには、町会も魅力を出すよう努力し、同時に区民もその魅力を求めて意見を出していくことが必要。
- ・地域に2代、3代住んでいる方もおられるが、町会役員に若い世代の方に出てきてもらえれば活性化するのではないか。
- ・地域活動協議会は素晴らしいものだと思うので、早く設立してもらい、素晴らしい地域コミュニティをしてほしいと思う。
- ・町会加入率が半数ということで、なぜ町会に入らないか、という理由を調査し、そこを解消すれば加入率が上がるのではないか。入らない理由も知らずに、加入を勧めるのは無理がある。町会に入らない理由というものに大きな理由があるとは思えない。
- ・マンション建設の段階で町会加入を働きかけるべき。
- ・日本は寝たきりの方が非常に多いと思う。若い力を借りることで寝たきり率の解消を図って頂きたい。
- ・区民は、区が何をしてくれるか、ではなしに、区に何をできるか、ということテーマとして問いかけて行くべきではないか
- ・町会への補助金など既得権的なものの見直しを進めるべき。

○区役所からは次のような回答を行った。

- ・都市計画道路の整備について、予算が無い状況の中で行政としては何が出来るか、きちんと説明できる行政となるべきで、行政が提案し、不足があれば再提案していく。行政と区民とのコミュニケーションが必要です。
- ・町会加入率は約51%であり、町会を代表する方が町会の意見を吸い上げて区政会議に臨んでいただいても、あとの49%の民意の集約の仕方を考える必要があります。
- ・町会への補助金については、24年度からより透明性を高めていくため、活動内容を申請して効果検証をしたうえで、補助金の対象としています。

3 区役所からの資料説明等

多様な区民の意見やニーズを区政に反映する仕組み（案）
～区政会議の再構築（スクラップ・アンド・ビルド）～

- ・区政会議を再構築し、新たに二会制を導入
- ・従来の区民モニターをより強化し、区政評価員と位置付け、区の事務事業評価を実施
- ・新たに「（仮称）戸別訪問型民意集約チーム」を発足

これら3つの取組により、サイレント・マジョリティなどを含めた多様な区民のニーズを把握する。

4 意見交換

○現行の区政会議について、委員より次のような意見があった。

- ・例えば区の広報紙にご意見シートを挟み、目安箱のような形で意見をもらえば、意見のなかなか出ない人からも意見が出るのではないか。
- ・公募委員の追加募集には、ぜひ女性にも多く参加していただき、男女比率が半々になればいいと思います。また若い子育て中のお母さんからの意見もあったほうが良い。
- ・公募委員を10名追加募集するとあるが、具体的にどのような戦略をもって募集するのか
- ・区政有識者会議と区政戦略会議とが別々に会議をしても、どこかで合同で会議した方が良い

○区役所からは次のような回答を行った。

- ・公募委員の半数が女性、とても素晴らしいご提案だと思う。
- ・公募委員の募集について、様々な情報発信ツールも活用し、また、職員が地域に出て、参加を呼びかける、ということも必要だと思う。

（その他の意見）

- ・マスコミの大衆受けする報道で、有為な人材をつぶさないでほしい。
- ・ボトムアップを目指すのは良いが、トップダウンでビジョンを示してもらうことも必要。
- ・保健福祉センター分館を使うのに不便に感じる。

傍聴の方にも発言を求める。

（傍聴者による意見）

- ・サイレントマジョリティの声を吸い上げる、水谷区長提案の「あなたの声をつなげ隊」は大変

すばらしいと思う。職員が地域に出向いて地域の声を吸い上げる、この考え方に大いに共感を覚える。

- ・社会教育的な面の青少年育成に力を入れてほしい。子ども会は社会教育的に良いことで、縦のつながりがあるのでいじめもない。改革するのも良いが、今まで何十年も培ってきたものを無くしてしまうようなことは無いようにしてほしい。